

最優秀賞

白金台幼稚園

表彰理由

白金台幼稚園では、生き物との多様な関わりを探求し、幼児の関心や理解、愛着等をより深めていくため、「身近な生き物との関わりをもっと深めよう！」をテーマに、既存の池のみをビオトープとして捉えるのではなく、池の付近にバイオネストや粗朶を設置して、新たな生き物を呼び込むとともに、自然の循環を生み出す仕組みを作ることで、幼児が生き物や環境について新たな発見を得るようにしました。また、ビオトープでの観察・採集・飼育に絡め、生き物を題材とした表現活動や図鑑で特徴や飼育方法を調べるなどの活動につなげることで、幼児が生き物への興味・関心をより深めることにつなげました。このように、ビオトープの整備と学習の両面において、幼児の多様な生き物への関わりを深める観点から、様々な独自の工夫を凝らした点が高く評価できます。

3Rでは、昨年度からの取組を継続し、「コピー用紙使用量を令和4年度実績の10%減にする」をテーマに取り組み、配布物の電子配信等を一層推進し、令和4年度と比較して約22%（6,100枚）もの削減に至りました。園内で明確な数値目標を共有しながら、削減の経過も各月ごとに把握して、確実に省資源による環境負荷削減をしている点は、数値による見える化を推進してきた近年のみなエコの取組の成果として高く評価できます。

特徴的な取組

■ バイオネストや粗朶の設置 (新規)

丸太や枝などを使った巣状の囲いの中に落ち葉を集めてためて土壌改良を促すバイオネストを「葉っぱのお家」、剪定や伐採などで出た太い枝や丸太を束ね虫が集まるようにする粗朶を「虫マンション」として設置し、腐葉土ができる様子や生き物が好む環境について幼児が知るきっかけにつなげています。

■ 生き物を題材にした表現活動 (新規)

ビオトープに関する活動の一つとして、オタマジャクシやカエルを題材にした表現活動を行いました。3歳児は「身体表現」、4歳児は「楽器遊び」、5歳児は「ペープサート」と、年齢に合わせた活動を行い、生き物に関心が低かった幼児も生き物に親しみを持ち、興味・関心を高めることにつなげています。

▼ バイオネストと粗朶



▼ カエルを題材とした人形劇

